



やぎだ

議会だより

No. 154

2017.2.1発行

元気に育て！(田の浜地区の世代間交流)

平成28年12月 第4回定例会

○12月定例会のあらまし — P2

○町の考えは！？(一般質問) — P5

○委員会活動報告 議会改革検討特別委員会 — P13

○住みよいまちづくりのために(町民と議会の意見交換会) — P14

変わります！



平成28年12月定例会は12月13日から16日まで4日間にわたって開かれ、条例改正、補正予算、人事、議員発議の意見書などについて審議しました。(2〜4ページ)
 一般質問では8人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(5〜12ページ)

健康子ども課は保健センターに配置されます。

3月まで	4月から	見直しのポイント
企画財政課	財政課	・ 財政規律の確保を図り、健全な財政運営を行う
復興推進課	復興企画課	・ 被災者再建支援室を新設し、住宅再建に関する補助金申請窓口、相談窓口を一本化 ・ 今後の町づくりにおける政策立案などの充実・強化を図る
町民課	町民課 (課名変更なし)	・ 国民健康保険に関する業務が国保介護課から移管
国保介護課	長寿福祉課	・ 高齢者福祉に関する業務を1つの課で効率的に取り組む ・ 国民健康保険に関する業務は町民課へ
健康福祉課	健康子ども課	・ 健康と子どもに関する業務を専門に行い、各種検診や妊娠から子育てまで切れ目のない支援に取り組む

行 政組織の改正に伴う関係条例の整理に関する条例を全員賛成で可決しました。このことにより、4月から町の組織が一部変わります。このたびの組織の改編は、被災者の住宅再建に関する補助金の申請の一本化や、少子化対策に重点的に取り組む子育て部門の新設などがポイントとなっています。

問 コミュニティの構築に関する業務を復興企画課で行うこととなるが、今後のコミュニティや住民協働の担当は、**花坂総務課長** 復興企画課の政策推進部門で住民協働に関する業務を行う予定である。コミュニティ関係の事務も担当する方向で検討中である。4月までに決定したい。

4月から 町の組織が一部

3月末で 町立大浦保育園閉園へ

町 保育園設置条例の改正を可決し、大浦保育園が3月末で閉園することが決まりました。

大浦保育園の閉園により、町立保育園は船越保育園のみとなりました。
(賛成11、反対1)



閉園が決定した大浦保育園

問 大浦保育園廃止により通園バスを運行することだが、船越保育園以外の保育園への通園にも使用するか。

菊池健康福祉課長 船越保育園への通園の交通手段と考えている。

人事案件

選挙管理委員会委員、補充員の選挙

本町の選挙管理委員会委員と補充員の任期満了に伴い、選挙を行いました。

当選した委員と補充員は次のとおりです。

- ▼選挙管理委員会委員
- ・鈴木 協子氏 (山田)
- ・木村 幸喜氏 (織笠)
- ・齋藤 茂 氏 (船越)
- ・豊間根和博氏 (豊間根)



委員長に選任された鈴木氏

- ▼選挙管理委員会補充員
- ・大川 貞子氏 (大沢)
- ・貫洞 寛喜氏 (大沢)
- ・斉藤 富子氏 (荒川)
- ・船越 達 氏 (船越)

皆さまからの 請願

農協改革・指定生乳生産者団体制度維持に関する請願

▽提出者

新岩手農業協同組合代表 理事組合長 久保 憲雄氏

▽紹介議員

菊地光明他3人

▽請願の要旨

協同組合原則を無視した不当な介入、現実的ではない事業・見直しを強要しないでほしい。

指定生乳生産者団体制度は極めて重要な制度であるため、制度の機能が損なわれないようにしてほしい。

▽付託委員会

産業建設民生常任委員会

▽委員会での審議結果

採択すべきもの

▽本会議での採決結果

全員賛成で採択

意見書を全員賛成で可決

反対 討論

住民感情の考慮不足

木村洋子議員

大浦地区において、保育園は小学校と同様に地域コミュニティの核となっている。その閉園までの期間を1年間ではなく、2、3年間とるべきではなかったか。保護者等への説明の仕方にも問題があるのではないかと考えるため反対である。

教育委員の任命

全員賛成で中村氏の任命に同意



教育委員に任命された中村氏

教育委員会委員の任期満了に伴い、新たに中村敏彦氏を委員に任命することを全員賛成で決定しました。

中村氏の任期は28年12月16日から4年間です。

意見書

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を全員賛成で可決しました。

定例会や臨時会などの議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、3月下旬ころから、議会ホームページ、ふれあいセンターで閲覧可能となる予定です。

一般会計補正予算（12月補正）

災害公営住宅の

コミュニティ形成を支援

4億3398万円を減額し、総額を456億771万円としました。

▽町営災害公営住宅コミュニティ形成支援業務委託料 120万円

問 どのような活動を計画しているか。

上林企画財政課長 町営災害公営住宅の山田中央団地でコミュニティ育成、設立のフォローをしたい。交流会を計画したり、自治会設立の準備のお手伝いを考えている。



改修されたケビンハウス1号棟

▽家族旅行村施設使用料 553万円

問 家族旅行村への宿泊を調整しながら宿泊を増やす考えは。使用料を上げる考えは。

佐々木水産商工課長 夏はほぼ満室となるが、その他の期間は空きがある。施設を改修しながら宿泊環境を改善したい。28年度からエアコンを導入したため、使用料を引き上げた。今後も状況を見ながら進めたい。

平成28年

第5回臨時会（11月4日）

議案6件を審議し、5議案について原案のとおり可決・同意しました。残りの1件については、町当局の説明不足により取り下げとなりました。その後、第4回定例会において可決しました。

▽受注者 東日本電信電話株式会社（NTT東日本）
▽審議結果 議案取り下げ

◆町新斎場敷地造成工事の請負契約の締結

▽工期 28年11月7日
29年10月31日

▽契約金額 1億5660万円

▽契約の相手方 奥井建設株式会社

▽審議結果 全員賛成で可決

※可決後に契約金額の誤りが判明したため、正しい契約金額で新たな議案として第6回臨時会で提案・可決

◆副町長の選任

副町長に現職の甲斐谷義昭氏を再任することに同意しました。任期は、28年11月10日から4年間です。（賛成12、反対1）

▽変更の理由

①復興工事に伴う設計線路変更による光ファイバ規格、数量の変更

②光ファイバ敷設を町による設置電柱から東北電力やNTT東日本が設置した電柱への共架に変更したことによる町設置電柱数量・附帯工事の減

変更後契約金額 3億3058万円

平成28年

第6回臨時会（11月25日）

町新斎場敷地造成工事の請負契約の締結について審議し、全員賛成で可決しました。

この議案は第5回臨時会で可決したものです

が、議案を可決した後に契約金額に誤りがあったことが分かりました。

その後町から説明を受け、第6回臨時会で正しい契約金額で新たな議案として提案されました。

◆町新斎場敷地造成工事の請負契約の締結

▽工期 28年11月28日
29年10月31日

▽契約金額 1億5714万円

▽契約の相手方は第5回臨時会で提案された議案と同じです。

◆なぜこのような事態となったか。

甲斐谷副町長 原因は町の事務処理ミスである。

町新斎場敷地造成工事請負契約議決の経緯

10月28日 入札で請負業者を落札者に決定

10月31日 請負業者と仮契約を締結
＜契約金額 1億5660万円＞（誤った金額）

11月4日 第5回臨時会
契約金額 1億5660万円（誤った金額）で提案・可決

契約手続き
事務処理ミスによる契約金額の誤りが判明

11月25日 第6回臨時会
契約金額 1億5714万円（正しい金額）で提案・可決

※金額の表記は、全て1万円未満切り捨てです。

台風10号

被害状況と復旧計画は

水産―被害額約4・5億円など 28、29年度完了を目指す

問 台風10号における被害状況はどうなっているか。水産、土木、農林関係の被害状況と今後の復旧計画は。

円。養殖施設などは県単独補助事業により28年度内、小谷島漁港は国庫補助事業により29年度中の完了を目指す。

佐藤町長 水産関係の被害は、漁船の転覆や破損、小型定置網、養殖施設の流出や破損、カキやホタテなどの養殖物の落下、小谷島漁港の消波ブロックの飛散など。被害総額は約4億4700万

土木関係の被害総額は約1億9700万円。29年度中の完了を目指す。農林関係の被害総額は約3200万円。28年度末までに完了する見込み。



阿部 幸一 議員
(新 生 会)



台風被害を受けた小谷島漁港

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。

街灯設置に遅れ―状況は

3つの団地で遅れ―早急に行う

問 各地区の高台では、住宅建築工事が進んでいるが、街灯の設置が遅れている。状況の説明を。

地は、大沢第1団地、浜川目団地、船越第1団地である。

町長 造成が完了し、宅地引き渡しを進めている高台住宅団地のうち、街灯の設置が遅れている団

夜間通行の安全確保、犯罪の防止を図るため重要な設備であることから、早急に設置工事を完了するよう進める。

官民連携による土地利用は

一つの有効な施策と感じる

問 雫石町では、小岩井農場に隣接する町有地を活用する整備計画が進み、事業の運営推進法人としてことし1月にまちづくり会社が設立されている。本町でも官民連携による土地利用について考えてはどうか。

町長 政府では、高齢者の地方移住を推進する視点から「生涯活躍まちづくり」構想を示し、雫石

町においては、これに従って官民連携によるまちづくり会社を設立し、高齢者向けの福祉施設等の整備を進める計画であることは承知している。「生涯活躍のまちづくり」構想に限らず「官民連携による土地利用」という手法については、条件を整えば「新たなまちづくり」の上で一つの有効な施策と感じている。

起業を志す若者への支援は

住まいの確保難しい



関 清 貴 議 員
(政 和 会)

問 企業誘致を行っているか。

佐藤町長 町内企業を訪問する中で関連企業に誘致できる企業があるか情報収集を行っている。

問 仮設店舗はどのような活用および処分を考えているか。また、今後のスケジュールや地権者などへの説明、事業の継続を希望する自力再建への支援策は。

町長 原則撤去を進めている。各事業者などの状況はさまざまに個別に対応したいと考えている。また、自力再建への支援は関係機関と連携し、支援を継続していきたい。撤去の方向性と時期、建築確認の申請は。

佐々木水産商工課長 私所有地に建っているものは、例えば条件を付した上での譲渡も検討していきたいと考えている。事業者、地権者、町の3者で協議、検討を進めたい。撤去費用の助成は30年度までであり周知を図りたい。建築確認の申請をしている店舗もあり、応急仮設建築物として建築確認の申請をしていない店舗もある。

問 起業を志す若者が、定住する環境を整えるため住居確保の支援策は。

町長 起業を志す若者に特化して住まいを確保することは難しい。

問 漁業後継者対策として魅力ある支援策をPRする考えは。

町長 町漁業就業者育成協議会では、就業希望者が漁業に就業できるように滞在場所の確保や受け入れの調査を進めている。体制が整い次第、情報発信したい。

問 サケの不漁などで経営的に厳しいと思われる山田魚市場の存続の支援策は。

町長 東日本大震災復興再生計画により、経営安定に向けた取り組みを進めているところで、進捗を注視していきたい。



仮設店舗の撤去助成は30年度まで

防災行政無線の 難聴地域対策は

計画的に進めている

問 避難準備情報が発令された段階での避難場所

の見直しを。

町長 車による避難などを考慮して避難所を設置した。

問 災害時の協定を神社、仏閣などと締結する考えは。

町長 今のところ災害協定締結の予定はない。

問 津波の高さの表示などを設置する考えは。

町長 必要があるかどうか検討したい。

問 防災行政無線の難聴地域を解消して全町民に公平に伝達するように。

町長 復興に合わせ改良を図るため、計画的に進めている。

新たな公設産直を

魅力ある道の駅を掲げる



吉川 淑子 議員
(新 生 会)

問 我が町には、6次産業化を目指した産直施設があり、農家の方々のおかげで豊間根産直は好評である。本町の魅力を発信するため、この取り組みをさらに充実、発展させなければならぬ。町として支援の考えは。

佐藤町長 本町で生産された農産物や農産加工品などの売り場として産直施設は、非常に重要であると認識している。その中で、新鮮で安全安心なものを提供している農家の方々には敬意を表する。町としては、産直運営団体の視察研修に支援を行っている。

問 豊間根産直は、農家の方々が資金を出し合い自分たちの力で立ち上げた施設であるが、十数年

が経ち高齢化から先行きが不安である。新たに組合員を広く募集し、多くの意欲ある方々と新たな産直施設を公設民営で建てるべきと考えるがどうか。

古館農林課長 町内の産直団体と話をし情報共有しながら、どのような手順で豊間根産直を伸ばせるか検討していきたい。

問 豊間根駅前周辺は、シャッター街となつている。高速道路、インターチェンジができるが、公設トイレもなければ豊間根は通過型となり人は立ち寄らない。東日本震災では、多くの避難者の方々に食糧などを提供した事実もある。豊間根地区は食糧基地でもあり、産直施設の建設を要望する。

町長 トイレをつくったからといってすぐ繁盛する問題ではない。公設のトイレは、維持管理が大変であり、衛生的に大変な部分がある。治安上の問題もある。三陸沿岸道路が通ること、町全体として魅力ある道の駅が

あるということも掲げていく。ある程度の規模の施設を何カ所か持つよりは、マスメリットを持つた道の駅というものが地域間競争になっていく。しかしながら豊間根地区は、震災時、温かいおにぎりを供給してくれた。多くの命をつないでくれた重要な地域であると思っている。

町としての国体の総括は

町民総力で大成功

問 希望郷いわて国体が開催され、本町では高等学校野球競技が行われた。婦人会のおもてなしをはじめ、大会関係者、町民の協力で素晴らしい

大会であった。大会本部長である町長に大会の総括および「スポーツの町やまだ」としての今後の町の姿勢を伺う。

町長 天候にも恵まれ、無事全日程を終了することができた。大会運営に協力いただいた皆さまに感謝したい。町内の児童生徒による友情応援、本町の食材を使ったおもてなし料理の振る舞いなど、随所において、おもてなしの心、支援への感謝の気持ちを発信できたと思っている。

町民の総力を結集した大会であったと自負している。引き続き幼児から高齢者まで、より多くの町民が日常的にスポーツに親しみ、健康増進が図られる環境づくりに取り組み、体育協会やスポーツ少年団本部などの活動を支援していく。



民間活力の豊間根産直

河川管理の実情と対策は

県と連携を密にし 適切な維持管理に努める



木村 洋子 議員
(日本共産党)

一般質問

災害公営住宅

自治会設立への関わりは

積極的に取り組んでいく

問 災害公営住宅移行後の被災者支援として、自治会の設立はコミュニティの構築や孤独死を防ぐ対策として重要な位置付けになると考える。自治会設立に当たっての集会所での必要物品（パソコンや椅子など）や、役員を選出、総会の持ち

町長 災害公営住宅移行後のコミュニティの構築は、非常に重要であると考えている。自治会などの設立に関しては、県や

方、運営上の相談事の支援など、町としても積極的に関わってほしいが、どのように対応していくのか。

社会福祉協議会と連携し、今後も「被災者支援総合交付金」を活用しながら積極的に取り組んでいく。29年度に向けて「コミュニティ対策部署」の新設も検討している。自治会などの設立・運営は、住民が主体となることが大事である。住民同士が協調・連携して運営できる組織になるよう円滑なスタートを支援していく。

問 台風10号により町内の大小河川では、流された土砂により川底が上がったり、堤防が破壊された箇所がある。今後、大きな被害が生じないように適切なしゅんせつと河川管理が必要と考えるが、どのようにしていくのか。

佐藤町長 台風により被害を受けた箇所は、災害復旧事業により対応していく。損傷している構造物の補修と堆積土砂の撤去などを行い、適切な維持管理に努める。

問 関口川の近くに新築の家が建ち並んでいる。関口川のしゅんせつは来シーズンの台風までに間に合うのか。

川守田建設課長 関口川の堆積土砂の撤去は、県

に要望を続けている。

問 豊間根川の堤防に大きな穴が開いている。県や町も把握していないか。たようだが、道路パトロールの仕方に問題があるのでは。

建設課長 道路パトロールの際、どうしても気付かない部分があったと認識している。県と連携を取りながら進めていく。

問 今回の台風襲来以前より損壊していた馬指野川の堤防の点検や周辺住民への周知および県との連携はどうなっていたか。

町長 河川護岸の損傷が進んでいる箇所として馬指野川を把握しており、県に情報提供していたが、地域住民への周知は行われていない。当該箇所は、29年度に事業着手するとの県の回答である。



台風10号で被害を受けた堤防（豊間根地区）

その他の質問

◆大浦保育園廃止による児童や保護者の負担軽減策は

復興後に備え機構改革を

状況に応じて対応したい



議員 村上 剛一
(未来クラブ)

問 復興後を見据えた機構改革がそろそろ必要と
思うがどうか。

佐藤町長 行政組織機構の見直しは29年度からの実施に向け準備を進めている。効率的で効果的な行政運営を行うためであり、復興後を見据えた機構改革は、今後の状況などに応じて対応していきたい。

問 復興事業が終了すると働き口が不足することが心配される。企業誘致などを推進する部署を考
えてはどうか。

花坂総務課長 現状では復興事業の窓口の一本化など、さまざまな問題を踏まえ、復興企画課を新設することにした。変わり目の部分の機構改革であるということを理解願
う。

給食センターの建設計画は

来年度、実施設計を組みたい

問 復興後を見据えた教育の在り方が問われていると思う。学校の統廃合を視野に入れた検討を行っているか。

佐々木教育長 学校の統廃合については今のところ具体的計画はないが、町の教育の在り方について、学校や保護者の方々と意見交換する機会を持ちたい。

山田の給食センターは素晴らしいと言われるような施設をつくってほしい。そのためにも来年度から検討委員会などを立ち上げてもらいたい。

問 学校給食センターの建設計画は、どこまで進んでいるか。

箱山教育次長 本年度は前回の実施設計が使えるかどうかも含めて検討し、来年度に実施設計できよう準備を進めたい。

町づくり オンラインワンを目指しては

コンパクトで美しく 活気ある町を目指す

問 なかなか町の姿が見えてこないが、魅力ある町にするための構想を示されたい。

町長 集落の再生を基本

としつつ、コンパクトで暮らしやすい町。豊かな自然を生かし、集落と海、山が一体となった美しい町。多様な産業が活

発に展開する町。この3点を目指す町づくり構想のもとで各種事業を進めてきた。今後もこの構想をもとに各種事業の進捗に努める。

沼崎復興推進課長 電柱地下埋設は長所短所がある。山田らしい町を目指しバランスを取りながら町づくりを進めていく。

その他の質問

- ◆ 旧・前山田病院の跡地利用は
- ◆ 災害危険区域の土地利用計画は
- ◆ 仮設住宅の集約化は
- ◆ 支援事業終了後の水産業の展望は
- ◆ 町独自の給付型奨学金の新設は



給食センター予定地

新斎場に必要では

単独設置を判断する



山崎 泰昌 議員
(政 和 会)

問 新しい住宅環境が形成されてきている中で、ペットと共に生活している人が増えたと感じている。ペット用の火葬炉も整備するべきである。なぜならば、今後、増加が予想される野生鳥獣の死骸処理にも対応でき、何よりも飼い主にとつては一般廃棄物としてごみ処理されるのは受け入れられないと思う。所有地に埋葬すれば済むことだが、匂いの問題もあり現状でも将来的にも厳しい状況にある。また、山や海で処理すれば「廃棄物の不法投棄」で犯罪となる。町民福祉、環境衛生上必要ではないか。

中屋町民課長 検討委員会 会の中では、ペットの火葬と一緒にするのは心情的に嫌な方もいる。ペットを飼っていない方が大半であり、火葬を希望する方は飼い主の責任で行うべきとの意見があり、併設しないこととした。

問 併設には約7千万円掛かるとのことだが、調べたところ500〜600万円が無煙・無臭のペット焼却炉が設置できるはずである。よく調べて回答しているのか。曖昧な回答では、議会としてしっかりとした議論ができない。

甲斐谷副町長 委員会 会長の務めたので回答する。議員の言ったとおり情報があつた。地域住民には斎場だけの説明で納得を得たので、今後委員会の中で、一体ではなく少し離れた所などを想定し、単独設置の必要があるか検討する。

議会中継を行うべき

住民サービス向上につながる

問 我々は開かれた議会を目指し活動している。議会内でも将来はインターネットを使って各家庭に中継しようとする意見もあるが、近々にできそうもない。そこで、今できる事として、庁舎の4階と5階だけで流して

いる議会中継を全庁舎に流してどうか。来庁者が耳を傾けてくれるかもしれないし、興味を持つ方は議場まで足を運んでくれるかもしれない。また、職員にとって町全体の課題などを聞くことができるかと考えるが。

佐藤町長 町政運営、住民サービス向上に意義ありと認識しているが、現状の放送設備では老朽化により音量調整ができないため今後検討する。

問 設備の不備を理由にサービスができないという回答は納得できない。

花坂総務課長 前提として、まず改修が必要と考える。現在、業者に見積もりを依頼している。議会の総意というのであれば町として対応していきたい。



新斎場敷地造成工事

その他の質問

- ◆長寿祝い金のように3人目の出産時に祝い金を出しては
- ◆長年のご苦労に敬意を表し金婚式を復活させては

官民連携体制を構築すべき

課題は多いが できることから対応する

問 災害時には役場各課の職員をはじめ、民生委員や消防関係、介護関係の方々がさまざまな活動を行っている。しかし、災害時活動には危険も伴う。活動に関わる方やその援助対象である災害弱者の身を守るため、役場各課と民間各位でしっかりと情報を共有し、連携して効率よく活動できる体制を整えるべき。連携の最終目標は要支

問 援者の個別避難計画を策定することだが、まず個別計画の現状について問う。
倉本総務課主幹 現在、要支援者名簿ができたという段階。個別計画策定には膨大な作業が必要であり、要支援者名簿はプライベートに関わる課題も多い。しかし、できることから対応していかなければならないと認識している。

問 策定が遅れているが、震災被害を受けた沿岸部にこそ必要。多くの課題はあるが災害時の犠牲者を減らすため、スピード感を持って取り組むべき。
一方で、すぐに個別計画を策定できないのは仕方がない面もあるため、できることから取り組んでいくことが重要。個別計画までいかなくとも、関係各位で要支援者の情報を共有するくらいでいいのではないか。現状では、民間との共有以前に役場内でも違う課だと共有ができていない。

総務課主幹 情報共有の必要性は理解している。今後、防災担当と関係各課で協議をし、情報の取り扱いについて決めていきたい。

問 民間を含めた関係各位の連携について、個別計画のような複雑な連携の前に、緩やかな連携から始めてみてはどうか。
例えば、国保介護課が中心になって開催している地域ケア会議には、現在、役場職員や民生委員、社協、介護関係者などが参加している。この枠組みに消防関係者や避難場所となる学校の先生なども招いてみては。まずは関係者が集まる機会をつくるべき。

甲斐谷国保介護課長 先日も地域ケア会議を開催したが、現在は課題の洗い出しをしている段階。台風10号による岩泉町の災害の件も課題として話題になったところであり、今後の対応を役場内で協議する。



大沢地区での地域ケア会議

その他の質問

◆事務処理に際するマニュアル整備や
チェック体制の構築は

議員 田老賢也
(無所属)

集会所の建設は

30年度完成を目指す



菊地光明議員
(新生会)

問 高台造成工事が完成すると住宅建築が始まる。それに伴いコミュニティ対策の中核施設になる集会所が必要だと思いが、各団地の集会所建設計画と完成年度を示せ。特に浦の浜から早川地区の高台、船越地区、織笠地区、大沢小学校脇、浜川目地区について。

佐藤町長 新しい住宅団地への集会所の整備については、被災施設の復旧を基本としつつ、居住の戸数と従来施設とのバランス、整備に係る財源および維持管理に係る将来の財源負担などを総合的に勘案しながら進めていく。

浦の浜から旧早川地区の防集団地は船越第5団

地内、織笠地区は新織笠駅付近、浜川目地区は浜川目団地内に30年度までに完成させたい。

問 同様な集会所である豊間根生活改善センターとふるさとセンターは津波難場所としては最良だが、台風の場合の避難所としては、横風と雨のため、あまりよくないと言

われている。両施設とも築50年前後で老朽化が進んでいるが、今後の整備計画に入れているか。

上林企画財政課長 整備計画の基本は被災した施設の再建であるが、豊間根、大沢の両施設とも今後の整備の課題であると認識している。



建設中の前須賀・タブの木荘線

前須賀・タブの木荘線は

30年度完成予定

問 各事業については、国および県と連携を取りながら実施していると思う。そこで、町道前須賀・タブの木荘線の進捗状況と完成年度を示せ。

町長 現在、県施工の防潮堤工事に合わせて既存町道の付け替え工事、地盤改良工事が進められており、30年度の完成を予定している。

6次産業化の支援は

積極的な支援を実施

問 6次産業化を目指して取り組んでいる白石地区、豊間根地区や加工業者の皆さんへの支援策は。今後は販路拡大が重要と思うが、対応は。

町長 6次産業化は重要な課題と認識しており、自主的な活動に対し積極的な支援をする。販路拡大の意欲のある団体などについては個別の相談に応じていく。

問 町内で活動している4団体と今後の将来的な希望などを話し合ったことはあるか。

古舘農林課長 必要性を認識しているので今後話し合っていく。

議会改革検討特別委員会

活動報告

本委員会では、議会運営の見直しなどについて調査・審議しています。委員会での決定事項は随時議会運営に取り入れていきます。

矢巾町議会視察〈小委員会〉（28年11月29日） 全ての基本は議会基本条例にあり！

●議会基本条例の制定
矢巾町議会は27年3月 24年12月から約2年3カ月をかけて、協
議・検討、先進地視察等



議会改革について説明を受ける小委員会委員（写真右）

を重ねました。
議会基本条例が全ての議会運営の基本であるとのことでした。

●政務活動費の交付
矢巾町議会では、1万6千円（議員1人/月）を議員の所属会派に対して交付しています。

規程で支出項目（調査研究費、研修費、資料購入費など）を分類し、経費の支出可否を定めています。使用後には領収書を添えて議長に会計報告を行います。

政務活動費で視察研修を行った場合は、2カ月以内に全員協議会で視察結果を報告することとしており、公正で透明性の高い運用をしています。

●通年議会の運用

1年間を1会期とし、定例会の回数を1回と定めています。告示が1年に1回のみとなるため、災害に伴う補正予算の審議など、緊急の事態に迅速に対応することができ

どんどん改革していきます！ 委員会での決定事項

28年9月定例会で特別委員会が設置された後に議会運営に取り入れた新たな取り組みについてお知らせします。
今後も議会運営の見直しを積極的に行い、開かれた議会を目指します。

●決定事項 1

町内各種団体との意見交換会を実施します！

団体等の現状の活動や抱えている課題について、議会と意見交換をしませんか？

対象者…①町内の団体（自治会、産業・経済団体、社会福祉団体、体育

・文化団体等）

②町民5人以上のグループ等

応募方法…申込書（議会ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入し、FAX、メール等でお申込みください。

●決定事項 3

定例会の日程と内容をより多くの方法で皆さまにお知らせします！

○お知らせの方法

①地区の掲示板等にポスターを掲示

②役場、中央公民館、中央コミュニティセンター、公民館などの建物にポスターを掲示

③役場の窓口を持ち帰り用のチラシを設置

④議会だよりに次回定例会の開催日を掲載

※今号にも掲載しております！16ページをご覧ください。

⑤議会ホームページに掲載（今後も継続）

⑥防災行政無線で放送（今後も継続）

●決定事項 2

近隣自治体議会との合同研修会の開催を提案します！

近隣自治体議会（大槌町、岩泉町、田野畑村、普代村）と宮古市議会との合同研修会の開催を近隣町村議会に提案します。

りのために

第4回 町民と議会の 意見交換会



豊間根生活改善センターで行われた意見交換会の様子

28年11月25日、26日、27日の3日間にわたり、町内6会場で第4回町民と議会の意見交換会を開催しました。
議会から決算、復興事業について報告を行い、その後は町政のさまざまな課題について議論が交わされました。

会場別参加者

会場	人数(前回)
まちなか交流センター	8(2)
織笠コミュニティセンター	4(7)
大沢ふるさとセンター	4(6)
豊間根生活改善センター	7(10)
船越防災センター	1(6)
大浦漁村センター	4(3)
合計	28(48)

※まちなか交流センターと織笠コミュニティセンターについては、前回は近隣の別会場で実施したことから、別会場での参加者人数を記載した。

※今回は6会場、前回は9会場で行ったため、前回の参加者人数合計は9会場の合計人数とした。そのため記載の各会場の合計と合致しない。

年齢別参加者

年代	人数(前回)
20歳未満	0(0)
20代	0(0)
30代	0(0)
40代	0(2)
50代	2(1)
60代	13(10)
70代	12(17)
80歳以上	1(2)
合計	28(32)

今回の参加者は前回の約半数となった。

60代以上の参加者が9割以上であり、40代以下の参加者はいなかった。

住みよいまちづく

意見交換会での質疑応答の内容から一部を抜粋してお知らせします。

震災の検証と伝達を

問 東日本大震災の津波被害から学べることでがたくさんあるにもかかわらず、しっかりとした検証が不足している。今後被害を出さないためにもしっかりと検証し、文面等で伝えていかなければならない。

答 防災計画は作られたが、国・県等から示された指針等に基づく部分も多く、実際の各個人の動きとしては不十分な面も多々あるため、整備する必要があると思ふ。

万全な災害対策を

問 山田の広い土地は土砂災害でできていくことをまず認識する必要がある。

岩泉や宮古など、台風10号により被災した河川

の事例を間近で見られる場所がある。そのような場所を行政職員と議員と一緒に視察すべきでは。

答 二級河川は県管理のため、対策における連携が難しい部分もあるのが現状。県が河川の全てを把握しているわけではなく、さらに現在岩泉等に目が向いているため、行政職員や議員が情報発信をしつかり行っていくかなければいけない。

災害公営住宅・高台団地の状況は

問 災害公営住宅や団地は全部埋まるのか。

答 アンケートを取り、意見を集約して建設しているが、アンケートを取った当時とニーズが変わり、空きがある団地や住宅がある。

新斎場敷地造成工事の報道の経緯は

問 新斎場敷地造成工事に関することが岩手日報に掲載されていたが、どのような経緯であったのか。

答 議員が気付かず報道であったが、町が誤って契約金額を記載したものであり、議員はそのことを知る術がなかった。第6回臨時会（平成28年11月25日）においても、副町長から間違いは全て町側にあると謝罪があった。

定住対策の検討を

問 働く所がなければ若い人たちは定住しない。若い人たちが定住する対策を考えてもらいたい。

答 高速道路の開通に伴い、工業団地の整備、企業の誘致が必要と思われる。

不漁に伴う対策は

問 本年度はサケなども不漁だが、町として対策は考えているか。

答 不漁だからといって町から漁協等への援助をすることはない。

アワビやナマコの種苗放流をしたり、養殖の種代を出したりするなどの取り組みを行っている。

議会改革検討特別委員会とは

問 議会改革検討特別委員会とは。

答 議会活動を今より良くするため、仕組みを変えるための検討をしている。

例えば議会からの情報発信を強化するよう、議会をインターネット中継するなどといったことが議題に上がっている。

意見交換会の運営に対する意見

- 個人的な意見も取り入れられるように。全員が話すように仕向けることが大切では。
- 参加人数が少ないので何か工夫が必要と思う。
- 住民への周知方法を考えるべき。
- 議会の内容が見えたとと思う。
- 時間帯が早い。

質問、意見、要望等の全文は議会ホームページでご覧いただけます。

「町発展に向け一丸となり前進を」



寺本 充子 さん
大沢・72歳

このたび、山田町婦人団体協議会大沢地区の会長さんが声を掛けてくださり、傍聴に臨みました。

広報やニュースでは知ること、感じる事ができない貴重な体験の機会で身の引き締まる思いでした。

定例会では、町長からのあいさつで、国体での婦人会のおもてなしに対するお礼が述べられました。国体に参加される方への食事の提供等を通し、貴重な体験をさせていただきました。定例会は静かな中にも緊

張感がありました。東日本大震災から6年を目前にし、議員の方と町職員の方々が、町民が一丸となるための話し合いをしました。防災、商工、台風被害、保育所、公営住宅、復興工事などの役割分担の質疑応答などを時間に無駄なく傍聴者にもわかりやすく進めていく様子を、手にした資料に目を通しながら拝見させていただきました。

復興に向かつて問題が山積していると思いますが、町長、議会、町職員の皆さん、また全国からの派遣職員の皆さんで一丸となって山田の発展のために前進してほしいと感じました。復旧・復興がさらに進み、山田町に明るい未来が来ることを願っています。

傍聴者は合計37人でした。3月定例会は2月13日に開会予定です。お気軽にお越しください！

これであなたも議会博士!?

ギカイ no 豆知識

第3回

今回のお題
委員会とは?

ヤマダ君は議会の組織に「委員会」があることを知っているかな? 山田町議会には現在、議会運営委員会、2つの常任委員会、3つの特別委員会があるのだよ。

議会ってなに? どんな仕組みがあるの? そんなヤマダ君の疑問に、物知り博士が分かりやすく答えます。

うん、特別委員会の活動を議会だよりで読んだよ。この議会だよりも議会広報編集特別委員会が編集しているんだよね。

おお、そのとおりじゃ! 常任委員会は町の組織(〇〇課)の事務について調査したり、議長に提出された請願の審査をしたりするのじゃ。議会運営委員会は議会を円滑に、そして効率的に運営するために活動しているのじゃ。

なるほど、そうなんだ! 議会は定例会や臨時会がないときにもさまざまな活動をしているんだね!



あ
と
が
き

▼平日頃より町民と議会とのコミュニケーション情報誌として「議会だより」の充実を考えていますが「言うは易く行は難し」、かなり苦戦しているのが現状であり、議会での議論、活動を町民の皆さまにお届けしたい気持ちで作り上げております▼新年を迎えて初めての発行で、28年12月定例会の内容を中心に掲載しています。東日本震災から6年目の年を迎えましたが、昨年は予想もできない自然災害が各地で発生しました。震災を体験した私たちはあの災害を忘れることなく防災意識を強く持ち、復興に向け有意義な年になりたいと思います▼今年も皆様から親しまれる「議会だより」となるような誌面作りを目指しますので、是非ご愛読ください。(関)

◆発行責任者

- | | |
|-----------------|---------|
| 議長 | 昆 暉 雄 |
| 議会広報編集特別委員会 委員長 | 吉 川 淑 子 |
| 副委員長 | 菊 地 光 明 |
| 委員 | 佐 藤 克 典 |
| 委員 | 木 田 賢 也 |
| 委員 | 関 村 清 貴 |